

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2012-196193

(P2012-196193A)

(43) 公開日 平成24年10月18日(2012.10.18)

(51) Int.Cl.
A01K 23/00 (2006.01)

F I
A O I K 23/00

テーマコード (参考)

C

審査請求 有 請求項の数 1 書面 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2011-84887 (P2011-84887)
(22) 出願日 平成23年3月22日 (2011. 3. 22)

(71) 出願人 511087796
岩▲崎▼ 大輔
千葉県市川市日之出22-1ソフトタウン
B棟325

(72) 発明者 岩▲崎▼ 大輔
千葉県市川市日之出22-1ソフトタウン
B棟325

(54) 【発明の名称】 ペット用トイレ

(57) 【要約】

【課題】 ペット用トイレのシートを交換しなければならない場合、料理中などの手をなるべく汚したくない時や普段の時でも、汚れたトイレに触らなければトイレシートの交換が出来ず、不快で不衛生であった。

また、ストッパーをはずし、トイレ本体を二対に分割して交換するのは場所や手間をとってしまって不便であった。

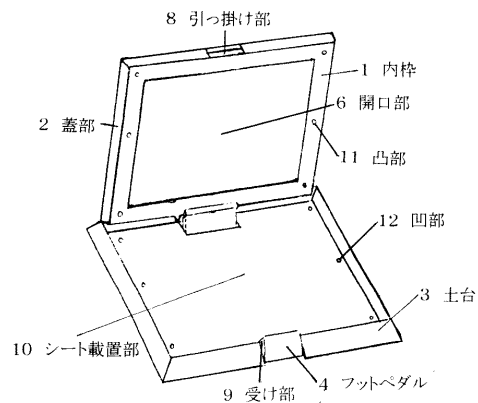
本発明は、ペット用トイレ自体に手で触らずにトイレシートの交換を可能にするペット用トイレを提供する。

【解決手段】 トイレの台座の後ろ端と内枠の後ろ端に軸を通し、蝶つがいにして開閉できるようにする。

台座の前部にフットペダルを設け、金属棒やプラスチックでテコの原理を利用し、フットペダルを踏むだけで、内枠が自由に開け閉めできるようにする。

内枠前部に引っ掛け部を、フットペダルに受け部を備え、閉じた状態の時に自動的にストッパーが掛かるようにした事を特徴としたペット用トイレ。

【選択図】 図3



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

長方形の土台後部に蝶つがいによって内蓋枠を備え、更に土台前部にフットペダルを設け、フットペダルを踏むと内蓋枠が上がり、フットペダルから足を離すと内蓋枠が降り、シートを挟み固定し内蓋枠の引っ掛け部とフットペダルの受け部によって自動的にストッパーがかかる仕組みのペット用トイレ。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、室内で使用する犬などのペット用のトイレに関するものである。

10

【背景技術】**【0002】**

従来、犬などのペット用トイレのシートを交換する際には、素手でトイレに触れ、一ヶ所、又は二ヶ所のストッパーをはずしてから上部と下部を分離し、分離した間にシートを挟みこんでから、また手でストッパーをかけていた。

【先行技術文献】**【0003】**

【特許文献 1】 特開 2008 - 199955 号公報

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】**

20

【0004】

ペットのトイレのシートを交換しなければならない時、料理中等の手を汚したくない時や普段時でも、汚れたトイレに触らなければシートの交換が出来ず、不快でありとても不衛生であった。

また、ストッパーをはずし、トイレ本体を二対に分割して交換するのは場所や手間をとってしまった。

本発明は、以上の問題点を解決するとともに、トイレシートの交換を容易にするためになされたものである。

【課題を解決するための手段】**【0005】**

30

本発明に係るペット用トイレは、トイレ土台と、トイレ土台の内側上面に蝶番で開閉する内蓋部を備える。

内蓋部前部に引っ掛け部を設け、本体土台前部にフットペダルを設け、フットペダルには内蓋部前部の引っ掛け部に対応する受け部を備えている。

土台内下部にフットペダルと内蓋部に連結されたテコ、又は Z 状回転シャフト機構を配することによって、フットペダルで内蓋部が自由に開閉する事を可能にした。

内蓋部を閉じた際、内蓋部前部の引っ掛け部とフットペダルに備えられた受け部により自動でストッパーがかかるようにした。

以上の構成による、ペット用トイレ。

【発明の効果】

40

【0006】

本発明に係るペット用トイレにおいては、トイレ土台上中央シート載置部にシートを載置し、内蓋部を閉じる事によりシートを挟み固定する。

従来では不可能であった、ペットが排泄した尿等で汚れたトイレに触れる事の無いシート交換を、フットペダルに足を置くだけで可能にした。また、フットペダルから足を離すと内蓋部の重さにより自然とシートを挟み込み、内蓋部の凸部と土台の凹部でシートのずれを防止し、内蓋部前部の引っ掛け部とフットペダルの受け部が自動で引っかかり、固定する事を可能とした。

衛生的にトイレシートの交換が可能で、トイレシートの交換の不快感が解決され、シート交換時の不便さも解消された。

50

【図面の簡単な説明】

【0007】

【図1】本発明の正面図

【図2】本発明の平面図

【図3】本発明の使用状態を示す斜視図

【図4】本発明のテコの原理を利用した際の内部の構造図

【図5】本発明のZ状回転シャフトを利用した際の内部の構造図

【図6】本発明のテコの原理を利用した際の断面図

【図7】本発明のZ状回転シャフトを利用した際の断面図

【発明を実施するための形態】

【0008】

10

以下、本発明の実施の形態を説明する。

上記した課題を達成するため、本発明に係るペット用トイレは、上面にシートが敷設される板状の土台3と、内枠1と蓋部2を蝶つがい5によって開閉自在に取り付ける。土台3の内側に適合する形状に形成された内枠1と蓋部2を設ける。尚且つ、この土台3の内部下部にテコ13の原理、又はZ状回転シャフト15の機構を配し、フットペダル4によって内枠1と蓋部2が自動で開閉する。

更に内枠1と蓋部2の前面に引っ掛け部を、接点となるフットペダルに受け部を備え、自動でストッパーが掛かることを可能としたペット用トイレである。

(イ)外枠となる土台3前部にフットペダル4を設ける。(図1参照)

20

(ロ)内枠1後部と土台3後部に蝶つがい5を設け、蝶つがい5を支点に開閉出来る蓋部2を構成する。(図2参照)

(ハ)土台3内部にテコ13、又はZ状回転シャフト15を設け、内枠1・蓋部2とフットペダル4に連結する。(図4・図5・図6・図7参照)

(ニ)内枠1の下面に凸部11を、その接点となる土台3上に凹部12を複数設ける。(図3参照)

(ホ)内枠1と蓋部2の正面に引っ掛け部8を、接点となるフットペダル4に受け部9を設け、ストッパーを構成する。(図3参照)

以下に、本発明の土台内部にテコの原理を利用した際の構造を説明する。

(ア)テコ13の力点部15をフットペダルに、作用点部16を内枠1と蓋部2側に設ける。(図4・図6参照)

30

(イ)支点部14を力点部15と作用点部16の中央、または中央より作用点部16側に設ける。(図4・図6参照)

(ウ)作用点部16を内枠1と蓋部2の連結部17に連結する。(図4・図6参照)

以下に、本発明の土台内部にZ状回転シャフト機構を利用した際の構造を説明する。

(ア)Z状回転シャフト18の力点部15をフットペダル4側に、先端軸19を内枠1と蓋部2側に設置する。(図5・図7参照)

(イ)フットペダル4を踏み込むとZ状回転シャフト18が回転し、先端軸19がせり上がる。(図5・図7参照)

本発明は以上のような構造である。

40

本発明の使用方法は、

(イ)フットペダル4を踏み込み、受け部9を引き、引っ掛け部8をはずしながら内枠1と蓋部2を開き上げる。

(ロ)土台3上、シート載置部10にトイレシート7を敷き、フットペダル4から足を離す。

以上で開いていた内枠1と蓋部2が内枠1と蓋部2自身の重みにより降り閉まり、内枠1と蓋部2と土台3でシートを挟み込みながら内枠1と蓋部2の凸部11と土台3の凹部12がシートを固定し、内枠1の引っ掛け部8とフットペダル4の受け部9で自動的にストッパーがかかり、トイレシートの交換が終了する。

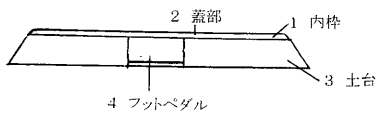
【符号の説明】

50

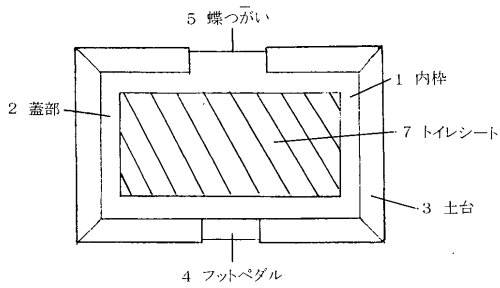
【 0 0 0 9 】

1 内枠、2 蓋部、3 土台、4 フットペダル、5 蝶つがい、6 開口部、7 トイレシート、8 引っ掛け部、9 受け部、10 トイレシート載置部、11 凸部、12 凹部、13 テコ、14 支点部、15 力点部、16 作用点部、17 連結部、18 Z状回転シャフト、19 先端軸

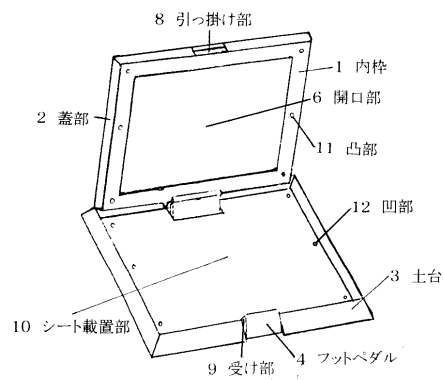
【 図 1 】



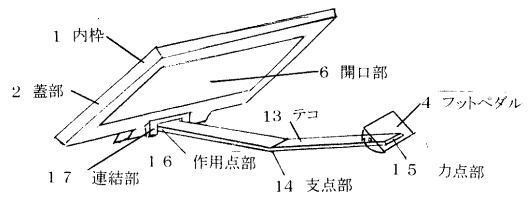
【 図 2 】



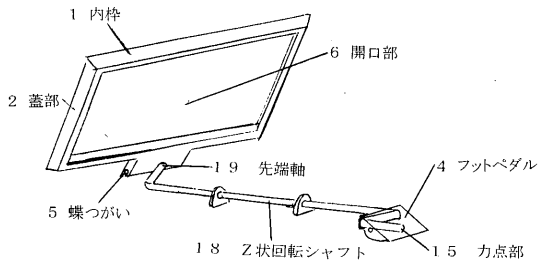
【 図 3 】



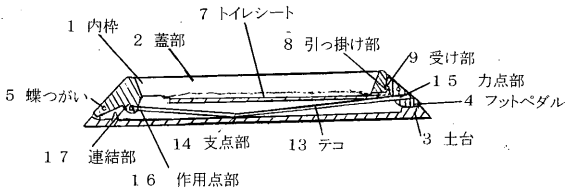
【 図 4 】



【図5】



【図6】



【図7】

